

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
 【発行日】平成 27 年 7 月 16 日 (2015.7.16)

【公表番号】特表 2014-525803 (P2014-525803A)  
 【公表日】平成 26 年 10 月 2 日 (2014.10.2)  
 【年通号数】公開・登録公報 2014-054  
 【出願番号】特願 2014-524072 (P2014-524072)  
 【国際特許分類】

A 6 1 F 9/007 (2006.01)

A 6 1 F 9/008 (2006.01)

【F I】

A 6 1 F 9/00 5 7 0

A 6 1 F 9/00 5 0 8

【手続補正書】

【提出日】平成 27 年 5 月 25 日 (2015.5.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

眼科システムに取り付けられるように構成された近位部分と、眼に取り付けられるように構成された遠位部分とを有し、且つ接触レンズ及び接合取付システムを具備する患者接合材と、

前記患者接合材に結合され且つ前記接触レンズ上の蒸気凝縮を低減するように構成された凝縮解除器と、

前記眼に取り付けられるとき、シールされた結合を形成するように構成された真空吸引リングと、

真空吸引ポンプと前記真空吸引リングとを結合し、前記真空吸引ポンプによって作り出された真空吸引を前記真空吸引リングに移送し、該真空吸引リングと前記眼との間に前記シールされた結合を生成し、このことによって前記患者接合材を前記眼に取り付けるように構成された真空ホースと

を具備する、眼科ドッキングシステム。

【請求項 2】

前記凝縮解除器が、前記接合取付システムに向かって空気を送り込むように構成された空気ポンプを具備する、請求項 1 に記載の眼科ドッキングシステム。

【請求項 3】

前記凝縮解除器がガス容器及びリザーバの少なくとも一方を具備し、該ガス容器及びリザーバの少なくとも一方が、大気圧よりも高い圧力において、前記空気ポンプによって送り込まれた高圧の空気を蓄え且つ該高圧の空気を前記接合取付システムに向かって送るよう構成される、請求項 2 に記載の眼科ドッキングシステム。

【請求項 4】

前記凝縮解除器が、前記リザーバに結合された圧力調整器であって、前記空気ポンプによって前記リザーバに送り込まれた前記高圧の空気の圧力変動よりも小さい圧力変動で、前記接合取付システムに向かって前記高圧の空気を送るよう構成された圧力調整器を具備する、請求項 3 に記載の眼科ドッキングシステム。

【請求項 5】

前記凝縮解除器が、前記接合取付システムの方に向けられる空気流の蒸気量を低減するように構成された除湿器を具備する、請求項 1 に記載の眼科ドッキングシステム。

【請求項 6】

前記凝縮解除器が、前記接合取付システムの方に向けられた空気流の温度を増大するように構成された空気ヒーターを具備する、請求項 1 に記載の眼科ドッキングシステム。

【請求項 7】

前記凝縮解除器が凝縮解除器ホースを介して前記真空吸引リングに結合される、請求項 1 に記載の眼科ドッキングシステム。

【請求項 8】

当該眼科ドッキングシステムが、前記真空吸引リングに結合されたバルブを具備し、前記真空ホース及び凝縮解除器ホースが前記バルブを介して前記真空吸引リングに結合され、前記バルブが、前記真空吸引ポンプと前記真空吸引リングとを結合する第 1 流体連通チャンネルと、前記凝縮解除器と前記真空吸引リングとを結合する第 2 流体連通チャンネルとの間を切り替えることができる、請求項 1 に記載の眼科ドッキングシステム。

【請求項 9】

前記接合取付システムが真空吸引リングを具備し、当該眼科ドッキングシステムが、前記真空吸引リング及び前記凝縮解除器に結合されたバルブを具備し、

前記凝縮解除器が空気ポンプを具備し、

前記バルブが、前記空気ポンプの空気取入れポートと前記真空吸引リングとを結合する第 1 流体連通チャンネルと、前記空気ポンプの空気出力ポートと前記真空吸引リングとを結合する第 2 流体連通チャンネルとの間を切り替えることができる、請求項 1 に記載の眼科ドッキングシステム。

【請求項 10】

前記接合取付システムが、前記眼に取り付けられるときにトロイダル状の容積を部分的に画定するように構成された真空吸引リングを具備し、

前記凝縮解除器が、真空凝縮解除器ホースによって前記真空吸引リングに結合された空気ポンプを具備し、

前記空気ポンプの作動が、前記真空凝縮解除器ホースを通して前記接触レンズに空気を送り込む第 1 モードと、前記真空凝縮解除器ホースを通して前記真空吸引リングに真空吸引を適用する第 2 モードとの間で切り替えられることができる、請求項 1 に記載の眼科ドッキングシステム。

【請求項 11】

前記凝縮解除器が、前記眼と接触しない側で、前記接触レンズを加熱するように構成される、請求項 1 に記載の眼科ドッキングシステム。

【請求項 12】

前記凝縮解除器が電気ヒーター又は放射ヒーターを具備する、請求項 1 に記載の眼科ドッキングシステム。

【請求項 13】

前記近位部分と前記遠位部分とが、別々の要素であり、該遠位部分が前記眼に取り付けられた後、互いに結合されることができる、請求項 1 に記載の眼科ドッキングシステム。

【請求項 14】

前記遠位部分が、前記眼に前記患者接合材を機械的に固定することを補助するように構成された把持システムを具備する、請求項 1 に記載の眼科ドッキングシステム。

【手続補正 2】

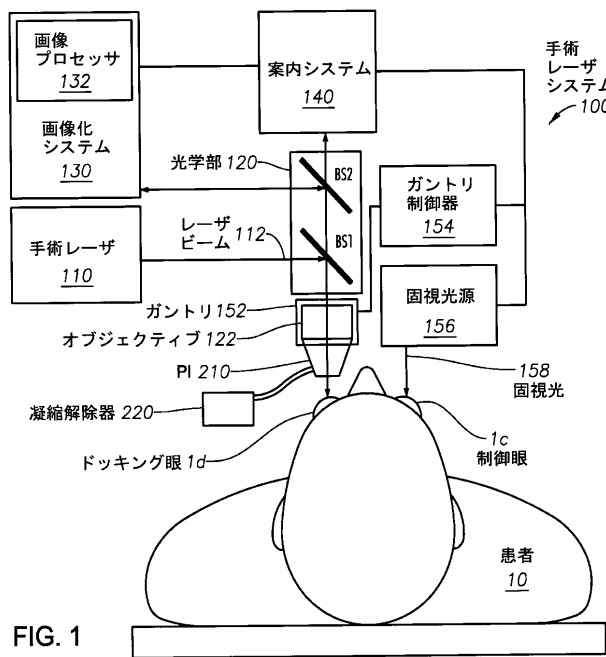
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】全図

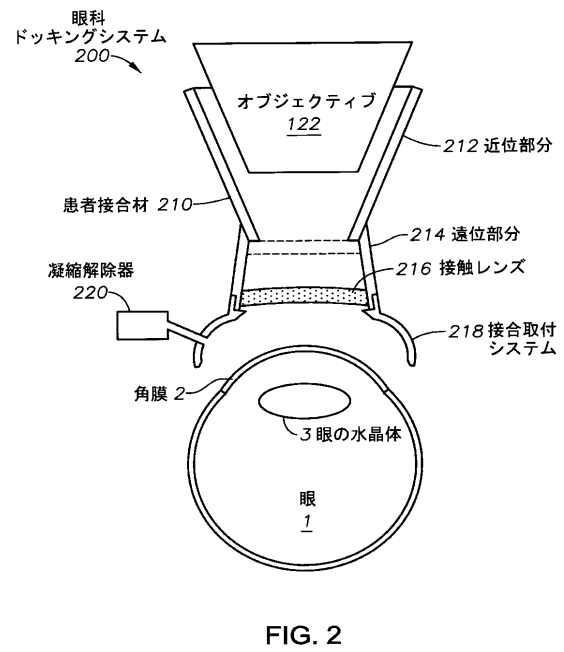
【補正方法】変更

【補正の内容】

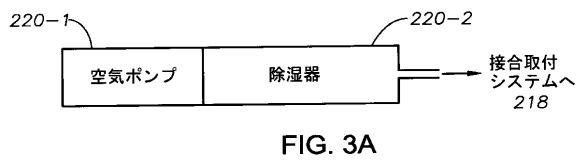
【図 1】



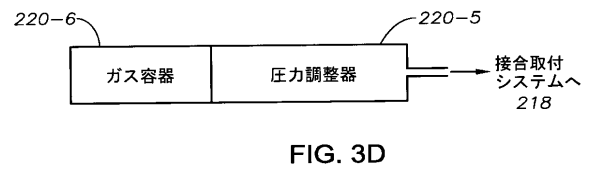
【図 2】



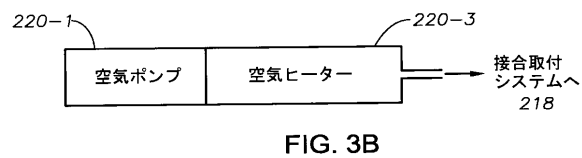
【図 3 A】



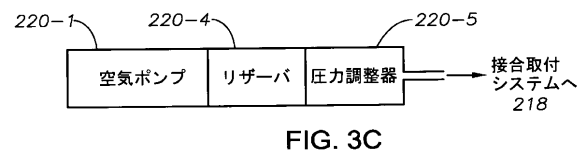
【図 3 D】



【図 3 B】



【図 3 C】



【図 3 E】

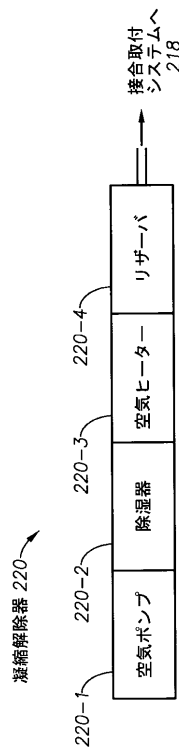


FIG. 3E

【図 4 A】

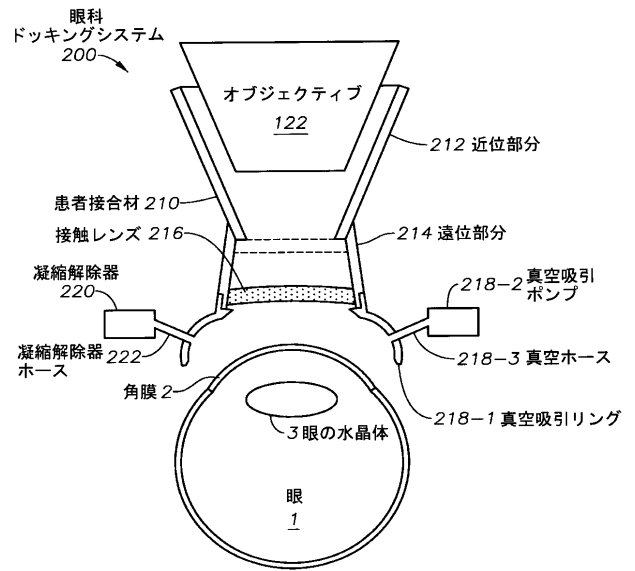


FIG. 4A

【図 4 B】

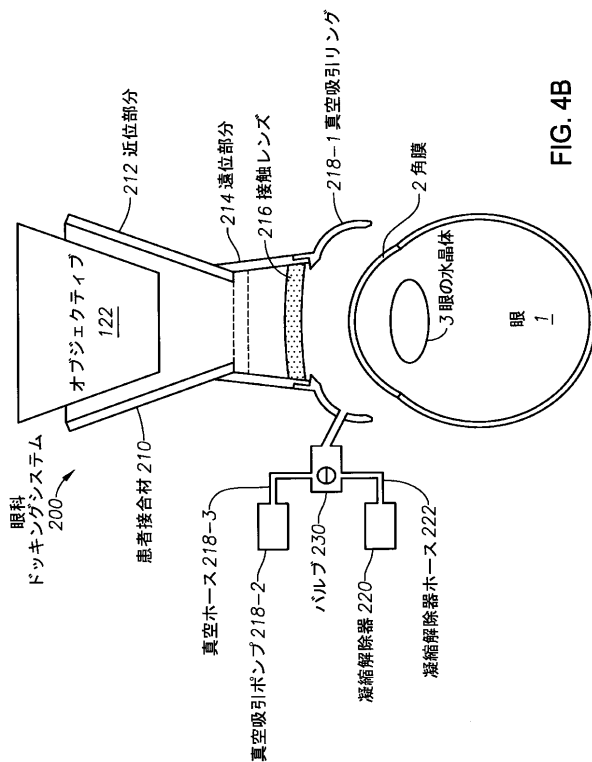


FIG. 4B

【図 4 C】

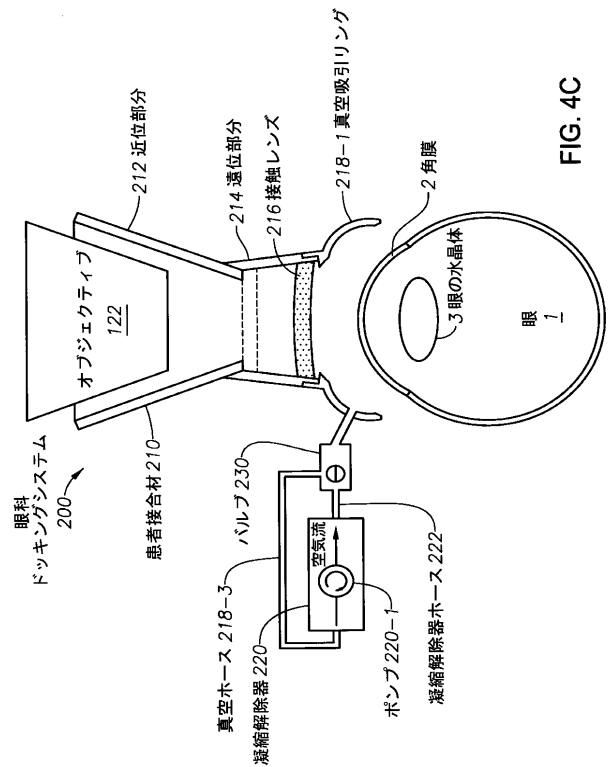


FIG. 4C

【図 4 D】

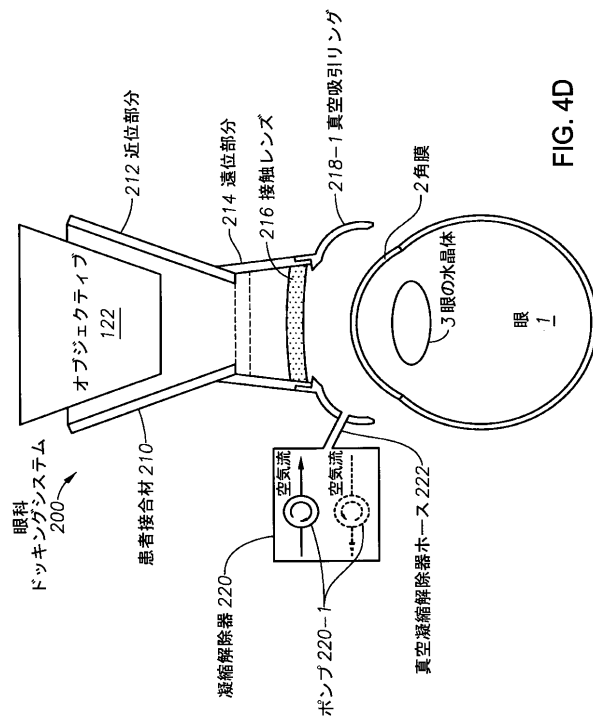


FIG. 4D

【図 4 E】

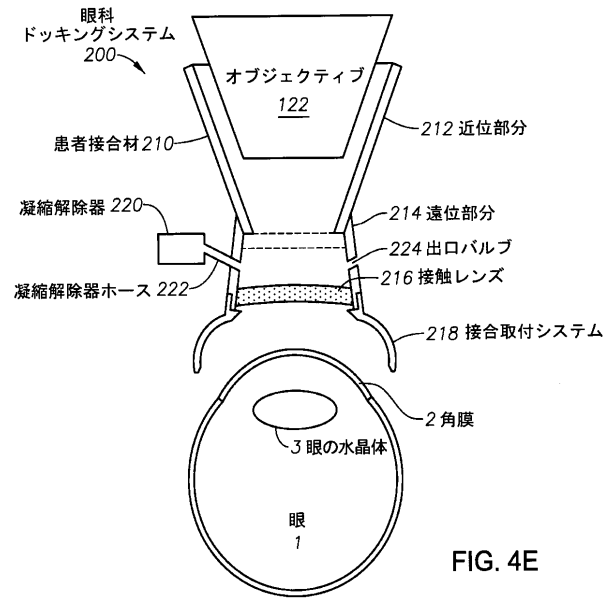


FIG. 4E

【図 4 F】

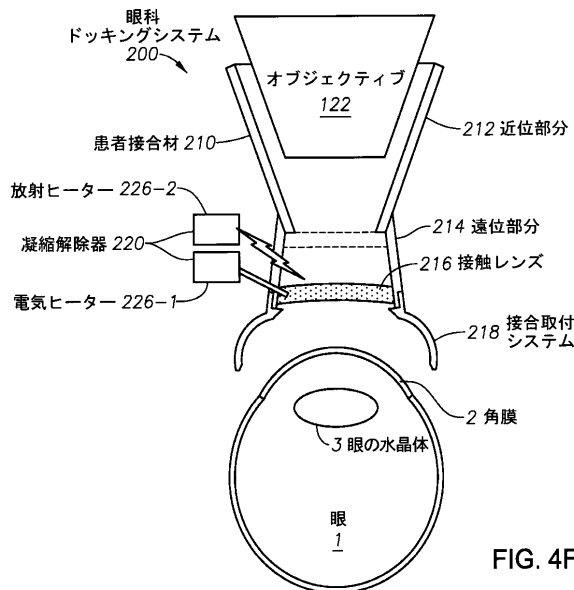


FIG. 4F

【図 5】

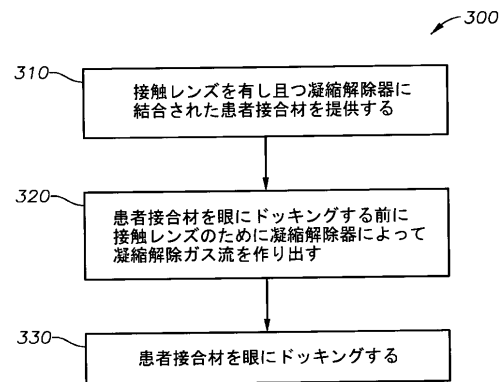
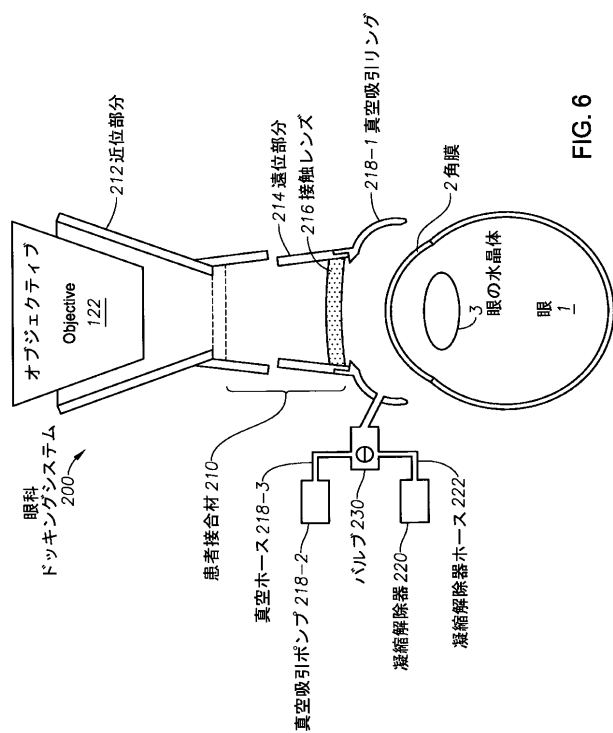


FIG. 5

【図 6】



【図 7】

